

【第4学年国語】

取材した事柄を整理・分類し、題材を選択して、一貫性のある文章を書く

1 指導計画

- 1 時間目 紹介文を書く際に必要な事柄を集めるための取材の仕方と取材メモの整理・分類の仕方について理解する。
- 2 時間目 組み立て表と紹介文を比較し、「始め - 中 - 終わり」の内容に一貫性をもたせることの大切さを理解する。
- 3 時間目 「スーパー丸山」について、自分の決めた題材で紹介文を書き、交流する。

2 指導のポイント

本単元は、取材したことを基にし、書くために必要な事柄を選択し、段落構成を意識しながら相手に分かりやすく紹介する文章を書くことをねらっている。「取材メモを集め、話題に沿って必要な事柄を選択する力」「段落の役割を理解し、文章を構成する力」「資料を活用して記述する力」「目的に応じて、文章を見直す力」を付けるために、3時間に分けて指導していく。

1 時間目

インタビューするときやメモを取るときに大切なことを考え、紹介文を書く際に必要な事柄を集めるための取材の仕方を理解する。また、スーパー丸山の案内図を読み解き、メモの内容を整理・分類するとよいことを理解する。

2 時間目

森さんの組み立て表と紹介文を対応させ、「始め - 中 - 終わり」の内容に一貫性をもたせることの大切さと、組み立て表を基にした紹介文の書き方を理解する。

3 時間目

組み立て表に自分の選んだ題材とまとめの文を記入し、それをもとに条件に合った文章を書き、交流する。

3 各時間の指導計画

(1) 紹介文を書くために必要な事柄を集めるための取材の仕方やメモの整理の仕方を考える(1時間目)

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p> <p>森さんのクラスでは、総合的な学習の時間に、福祉について学習しています。森さんのクラスにいるつもりで、町にある「使う人のことを考えた工夫」を友達に紹介するための文章の書き方を考えていきましょう。</p> <p>質問の仕方を考える</p> <p>T 森さんは、図書館の竹田さんにインタビューにいきました。みなさんなら、どんなことを聞きますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館にどれくらい人が来るか。 ・使う人のために、どんな工夫をしているか。 <p>T 問題では、どのような内容を質問しているでしょうか。</p> <p>たくさんの人がりようしているのですね。 <input type="text" value="A"/></p> <p>めがねのかし出しがあるなんて、親切ですね。 <input type="text" value="B"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aに入るのは、④だと思う。なぜかという、竹田さんの答えの一文目が「一番多く利用しているのは、小・中学生です。」と言っていて、どんな人が多く利用しているのかを聞いているかが分かる。 ・Bに入るのは、①だと思う。竹田さんが、「小さな子どものことを考えて」と答えているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28 問題を読み、課題を把握する。 ・質問の内容について、自分たちの予想を立てさせ、考えをもたせる。 ・自分の考えと比べながら問題の質問のよさについて考えさせる。

T 森さんのインタビューの仕方、よいところはどこでしょう。

- ・最初に、どんなことを調べているのかを言っている。
- ・竹田さんが答えたことを受け止めてから、質問している。
- ・自分の知りたいことを整理して聞いている。

まとめ1

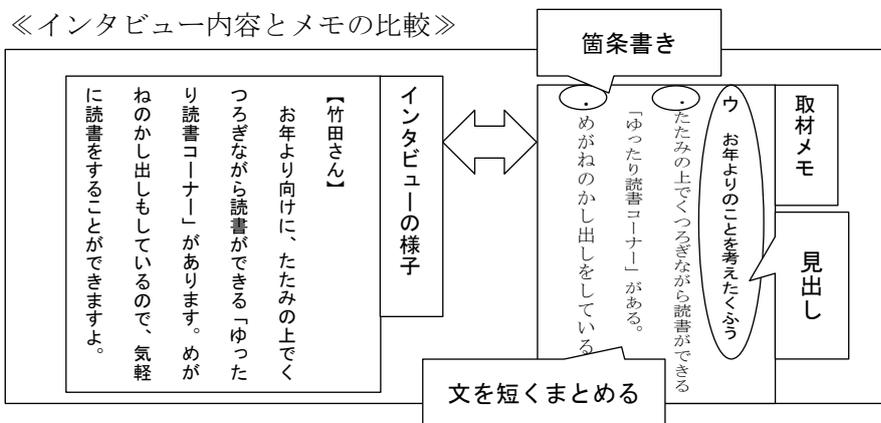
- ・インタビューでは、全体の事柄を聞いてから、細かい事柄を聞くように、順番を考えて質問をしていくと分かりやすい。
- ・答える人の最初の一言には特に注意する。

メモの仕方を考える

T メモをする際に気を付けることは何でしょうか。森さんのグループの《取材メモ》とインタビューの内容を比べてみましょう。

- ・簡条書きで書く。
- ・文を短くまとめる。
- ・「～のくふう」といった見出しを付ける。
- ・大事なことを落とさないで書く。

《インタビュー内容とメモの比較》



メモの分類の仕方考える

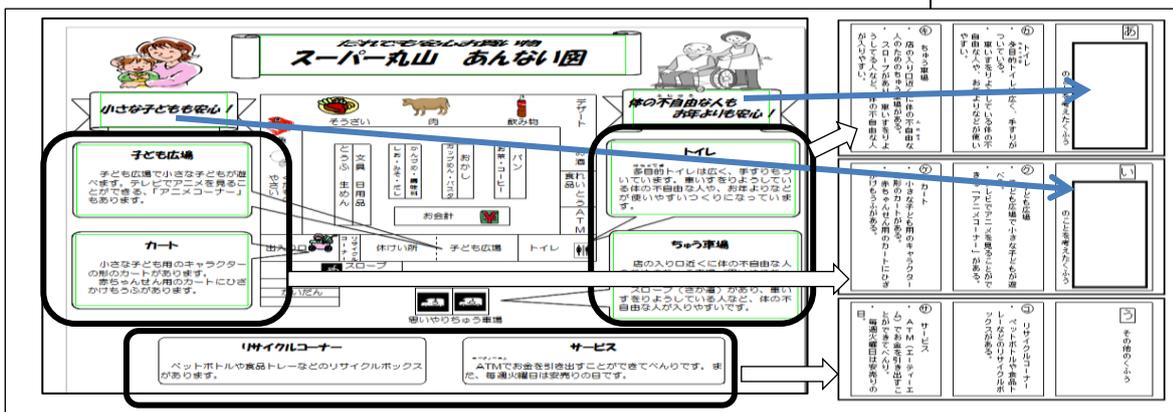
T スーパー丸山の案内図から分かったことのメモのグループの名前はどのようならよいでしょうか。

- ・カとキは、「体の不自由な人とお年寄り」だと思う。どちらも動くことが大変な人のために考えた工夫だから。
- ・クとケは、「小さな子ども」のための工夫だね。
- ・案内図から当てはまる言葉を見つけられればよいよ。

まとめ2

- ・メモをする際には、簡条書きで書く。その際、短い言葉で内容ごとに分けると、と分かりやすい。
- ・メモは、同じ内容ごとにまとめるとよい。
- ・グループ分けした内容ごとに名前を付ける。

《案内図とメモの対応》



- ・インタビューをする際に大切なことを学習内容としてまとめる。

□インタビューの質問の内容を考えるとときに大切なことを理解できたか。

- ・取材メモとインタビューの内容を比べさせ、違いに線を引かせる。
- ・発見したことを整理する。

・取材をメモする際に大切なことを学習内容としてまとめる。

- ・案内図の言葉が、メモにどのように生かされているか、案内図とメモを対応させて考えさせる。

□メモを取るときや取材メモをまとめるときに大切なことを理解できたか。

(2) 組み立て表と紹介文を比較し、「始め - 中 - 終わり」に一貫性をもたせて文章を書くことの大切さと、組み立て表を基にした紹介文の書き方を理解する (2 時間目)

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>課題を把握する</p>	
<p>森さんの組み立て表と紹介文を比べて、紹介文を書く際に大切なことを考えましょう。</p>	
<p>《組み立て表》から、文章構成を確認し、必要な事柄の選び方について考える</p>	<p>・組み立て表から、構成を考えさせる。「始め」は話題提示や問題提起、「中」は説明、「終わり」はまとめや主張という役割を押さえる。</p>
<p>T 森さんの組み立て表はどのような構成になっていますか。選んだメモはどれでしょう。</p>	<p>・「始め」と「終わり」が同じことを伝えていることを押さえる。</p>
<p>・「始め - 中 - 終わり」になっている。 ・「中」が二つに分かれている。 ・「始め」には、これから紹介することについて書いてある。 ・「終わり」には、まとめが書いてある。 ・使っているのは、ウとエだ。</p>	
<p>T 森さんは、なぜ「ア リよう者の数」を選ばなかったのでしょうか。</p>	<p>・「使う人のことを考えた工夫」にあった事柄を選ぶ必要性を押さえる。</p>
<p>・「使う人のことを考えた工夫」ではないから。</p>	
<p>まとめ1</p>	<p>□内容に一貫性を持たせて題材を決めることの大切さが理解できたか。</p>
<p>・「始め」に話題提示。「中」で説明。「終わり」でまとめをする。 ・「中」の内容は、テーマに合ったものを選んで決める。 ・「始め」「中」の内容と「終わり」がしっかりと合っているかどうか考える。</p>	
<p>《組み立て表》と《紹介文》から、メモをどうやって文章化するか考える。</p>	<p>・組み立て表と紹介文を対応させ、違うところに線を引かせる。</p>
<p>T 森さんの紹介文の書き方で、よいところや直すところはどこでしょう。</p>	
<p>・メモは、「～している」や「～がある」だが、紹介文の中では「～しています」や「～があります」と、丁寧な言葉になっている。 ・1か所だけ「～している」のままだから、直さなくてはいけない。 ・「一つ目は」「二つ目は」「このように」などの言葉を付け足している。 ・段落を変えるときには、一マス空けている。</p>	
<p>《組み立て表と紹介文の対応》</p>	
<p>The diagram illustrates the relationship between the assembly table and the introduction text. The assembly table is organized into three columns: '始め' (beginning), '中' (middle), and '終わり' (end). The '中' column is further divided into two sub-sections. The introduction text is written below the assembly table, with blue arrows showing how content from the assembly table is incorporated into the text. A large arrow labeled '対応' (correspondence) points from the introduction text back to the assembly table, indicating the mapping between the two. Two boxes labeled 'ウ' and 'エ' contain notes about the selection of content: 'ウ' (U) notes that 'お年より' (elderly) was chosen over 'たのしみ' (fun) because it is more specific to the topic of reading; 'エ' (E) notes that '小さな子ども' (small children) was chosen over 'かんり' (responsibility) because it is more specific to the topic of reading.</p>	<p>□メモを文章化するときの大切なことについて理解できたか。</p>
<p>まとめ2</p>	
<p>・紹介する相手や目的に合わせて文末を「～です」「～ます」に統一する。 ・書く内容が変わった時に、段落を変える。</p>	

